

第 8 回札幌冬季がんセミナー

テーマ:「難治がん対策はいかにあるべきか?」

日時

1994 年 2 月 5 日

会場

北海道医師会館 8 F 講堂
北海道札幌市中央区大通西 6 丁目

代表世話人

垣添 忠生 (国立がんセンター中央病院院長)
末舛 恵一 (国立がんセンター総長)
兼元 敏隆 (国立札幌病院院長)
小林 博 (北大名誉教授)

主催

財団法人札幌がんセミナー
財団法人総合健康推進財団
財団法人がん集学的治療研究財団

プログラム

難治がん～総論～

演者 垣添 忠生 (国立がんセンター)
座長 兼元 敏隆 (北海道がんセンター)

難治がんの罹患と医療の動向

演者 藤本伊三郎 (大阪府立成人病センター)
座長 田村 浩一 (北海道対がん協会)

肝・胆・膵がんの早期診断をめざして

演者 森山 紀之 (国立がんセンター)
座長 福田 守道 (札幌医科大学)

肺がんの化学療法

演者 福岡 正博 (大阪市立総合医療センター)
座長 宮本 宏 (江別総合病院)

肺がんの拡大手術と縮小手術

演者 成毛 韶夫 (国立がんセンター)
座長 久保 良彦 (旭川医科大学)

肝細胞がんの病態に応じた治療法の選択

演者 竜 崇正 (国立がんセンター)
座長 内野 純一 (北海道大学)

胆嚢・胆道がんの手術療法

演者 二村 雄次（名古屋大学）

座長 加藤 紘之（北海道大学）

難治がんの予防

演者 富永 祐民（愛知県がんセンター）

座長 犬山 征夫（北海道大学）

パネルディスカッション “難治がん対策はいかにあるべきか？”

司会：垣添忠生（国立がんセンター）